

コ	ス	歯科保健統計 (Statistics for Oral Science)	
学年・期・単位	第3学年・前期・1単位	科目担当責任者	荒川 浩久 (健康科学講座 口腔保健学分野・教授)
オフィスアワー	毎週講義日放課後～18:00 (第2研究棟4階荒川教授室および授業担当者の部屋)	メールアドレス	arakawah@kdcnet.ac.jp
一般目標 (GIO)	歯科における検査、診断、治療、予防手段は、蓄積された疫学研究の成果であることを理解し、患者または地域に応用する際に、より根拠の確かな方法を選択できる能力を養うとともに、有効性や予後判定への統計手法の応用について習得する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 疫学概念と医学研究手法	疫学概念を理解し、医学研究手法の分類とスクリーニング検査、ならびにリスク要因評価について習得する。
2. 口腔保健の統計調査	わが国の国家統計調査の概要を理解し、口腔保健の推移を習得する。
3. 歯科疾患の疫学的特徴	歯科疾患の疫学的特徴を理解し、予防対策の経済的効果の評価法を習得する。
4. Evidence based medicine (EBM)、科学論文	EBMの流れと情報の科学的レベルを理解し、外部情報の種類と内容について習得する。
5. データの収集とまとめ方	標本推測統計学のための抽出法を理解し、得られたデータのまとめ方と集団の特徴の表し方を習得する。
6. 質問調査	質問調査について理解し、基本的な調査結果の集計ができる能力を習得する。
7. 歯科統計指標	歯科統計指標の意義を理解し、齲蝕、歯周疾患、歯のフッ素症、くさび状欠損 (WSD)、不正咬合の罹病状況ならびに口腔清掃状態の把握と評価に適した指標の選択と診査方法を習得する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A スタンダード口腔保健学 (ただし、口腔衛生学の教科書として購入のもの)	荒川浩久、神原正樹、安井利一編	学建書院
B スタンダード衛生・公衆衛生 改訂版 (ただし、2年次で教科書として使用のもの)	末高武彦、米満正美、神原正樹、安井利一、荒川浩久編	学建書院
C 口腔保健実践ガイドブック 第2版	荒川浩久、宮澤忠蔵編	学建書院

評価法 (EV)
客観式前期本試験 (80%)、講義ノート (10%)、出席状況 (10%) と受講態度 (減点) による総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	疫学 の 概念 と 医学 研究 手法	1. 疫学の定義を説明できる。 2. 医学研究における研究手法を分類できる。 3. 前向き研究と後ろ向き研究の特徴を説明できる。 4. 疫学研究の進め方を説明できる。 5. 患者対照研究の特徴を説明できる。	A P59~65、B P21~27。 形成的自己評価のために予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-1)-① 総(Ⅱ)-10-A~E
2	4/12		1. 介入研究におけるパラレルとクロスオーバーの特徴を説明できる。 2. 医学研究におけるマスキングの意義と種類を述べることができる。 3. スクリーニング検査の有効性を判定できる。 4. 前向き研究と後ろ向き研究におけるリスク要因の影響評価法を説明できる。	A P65~67、B P27~31。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-1)-② 総(Ⅱ)-1-E 総(Ⅱ)-10-F 必12-D-a,b
3	4/19	口腔 保健 の 統計 調査	1. 国家統計調査を分類できる。 2. 口腔保健に関する主要な国家統計調査の概要を述べることができる。 3. 歯科疾患実態調査の結果の概要を述べることができる。	A P47~49、B P61~64。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 資料を配布する。	荒川浩久	C-4-1)-①~③ C-4-2)-① 総(Ⅱ)-9-B
4	4/26	歯科 疾患 の 疫学 的 特徴	1. 歯科疾患の総合的な疫学特徴を述べることができる。 2. 齲蝕の疫学的特徴を述べることができる。 3. 歯周疾患の疫学的特徴を述べることができる。 4. 費用-効果分析、費用-効用分析、費用-便益分析を関連付けることができる。	A P68~78、B 36~37。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-3-2)-① 総(Ⅱ)-10-J,K
5	5/10	Evidence based medicine (EBM) 科学論文	1. EBM 実践の流れを説明できる。 2. EBM レベルの高い疫学研究を列挙できる。 3. 論文の種類と構成について説明できる。 4. 報告書作成のポイントを説明できる。 5. 歯科検診の型を分類し、それぞれの特徴を説明できる。 6. 歯科集団検診実施の流れを説明できる。	A P207~212、B P28。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	B-1-4)-① C-4-1)-① 総(Ⅱ)-10-G,I 必3-A- f 必12-A-a 必12-B-a
6	5/17	データ の 収集 と まとめ 方	1. 標本調査の必要性を説明できる。 2. データの尺度分類を説明できる。 3. 標本調査による推測統計学のための抽出法を列挙し、概略を説明できる。 4. 度数分布表の構成を説明できる。	A P58。 C P109~110、115~116。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 準3-(2)-② 総(Ⅱ)-10-I
7	5/24		1. 正規分布の概念と特徴を述べることができる。 2. 集団の特徴を表す代表値をあげ、それぞれを説明できる。 3. 集団のバラツキを表す代表値をあげ、それぞれを説明できる。 4. 集団における個々のデータの位置を表す値をあげ、それぞれを説明できる。	A P58。 C P111~115。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 準3-(2)-①② 総(Ⅱ)-10-I
8	5/31	質問 調査	1. 質問調査を分類し、それぞれの特徴を説明できる。 2. 質問紙調査の種類を列挙し、それぞれの利点と欠点を述べることができる。 3. 質問紙調査の回答形式を説明できる。	C P35~39。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 PC にて集計作業を説明しながら集計させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 総(Ⅱ)-10-I

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
9	6/7	質問調査	1. 単純集計とクロス集計の違いを説明できる。 2. 単純集計とクロス集計をし、データの特徴を説明できる。 3. 数量データの基本統計量を算出し、データの特徴を説明できる。	C P115~119。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 PC にて集計作業を説明しながら集計させる。	荒川浩久	C-4-2)-③ 準3-(2)-① 総(Ⅱ)-10-I
10	6/14	歯科統計指標	1. 齲蝕の検出基準の歴史的変遷と現在の検出上のポイントについて説明できる。 2. 学校保健安全法による齲蝕の診査法とそれに用いる記号について説明できる。 3. 要観察歯 (CO) について説明できる。 4. 齲蝕経験指数の記号 (D、M、F、d、m、e、f) の意味を説明できる。	A P49~51。C P7~12。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 パワーポイントにより解説する。	宋 文群	C-4-1)-③ C-4-2)-③ 準3-(2)-① 総(Ⅱ)-10-H 各(Ⅰ)-1-E
11	6/21		1. 齲蝕経験に関する指数を列挙し、それらの意味を説明できる。 2. 齲蝕経験に関する指数を計算できる。 3. 齲蝕経験に関する指数から齲蝕抑制率を計算できる。	A P50~51。C P7~12。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 パワーポイントにより解説する。	宋 文群	C-4-1)-③ C-4-2)-③ 総(Ⅱ)-10-H 必12-A-c
12	6/28		1. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 2. 歯周疾患の検出基準を説明できる。 3. 学校保健法による歯周疾患の診査法を説明できる。 4. 歯周疾患要観察者 (GO) と歯科医師による診断と治療を必要とする歯周疾患 (G) について説明できる。 5. PMA 指数について説明できる。 6. Gingival Index (GI) について説明できる。	A P51~54。C P14~15。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 パワーポイントにより解説する。	宋 文群	C-4-1)-③ 総(Ⅱ)-10-H
13	7/5		1. WHO の歯周プローブの使用方法について説明できる。 2. Periodontal Index (PI) について説明できる。 3. Periodontal Disease Index (PDI) について説明できる。 4. Gingival Bone (GB) count について説明できる。 5. Community Periodontal Index (CPI) について説明できる。 6. 歯周疾患に関する指標の診査対象歯について、全歯または特定歯 (代表歯) により分類できる。 7. 歯周疾患に関する指標の考えうる最高点数を述べることができる。	A P51~54。C P15~21。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。 パワーポイントにより解説する。	宋 文群	C-4-1)-③ 総(Ⅱ)-10-H
14	7/12		1. 歯垢と歯石の沈着状況の診査法を説明できる。 2. Oral Hygiene Index (OHI) について説明できる。 3. Oral Hygiene Index-Simplified (OHI-S) について説明できる。 4. Patient Hygiene Performance (PHP) について説明できる。	A P55~58。C P24~26。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	川村和章	C-4-1)-③ 総(Ⅱ)-10-H 必15-AB-a
15	7/19		1. Plaque Control Record (PCR) について説明できる。 2. Plaque Index (PII) について説明できる。 3. 口腔清掃状態に関する指標の診査対象歯について、全歯または特定歯 (代表歯) により分類できる。 4. 口腔清掃状態に関する指標の診査対象歯について、考えうる最高点数を述べることができる。 5. 歯のフッ素症の変化の特徴を説明し、Dean の基準により分類できる。 6. 地域フッ素症指数 (CFI) について説明できる。 7. くさび状欠損 (WSD) の成因について述べることができる。 8. くさび状欠損 (WSD) に関する指標を説明できる。 9. 不正咬合に関する指標を説明できる。	A P55~58。 C P12、21、22。 形成的自己評価のために復習部門と予習部門の小テストを行う。 板書したものを HP 掲載利用電子ノートへ記録させる。	川村和章	C-4-1)-③ 総(Ⅱ)-10-H